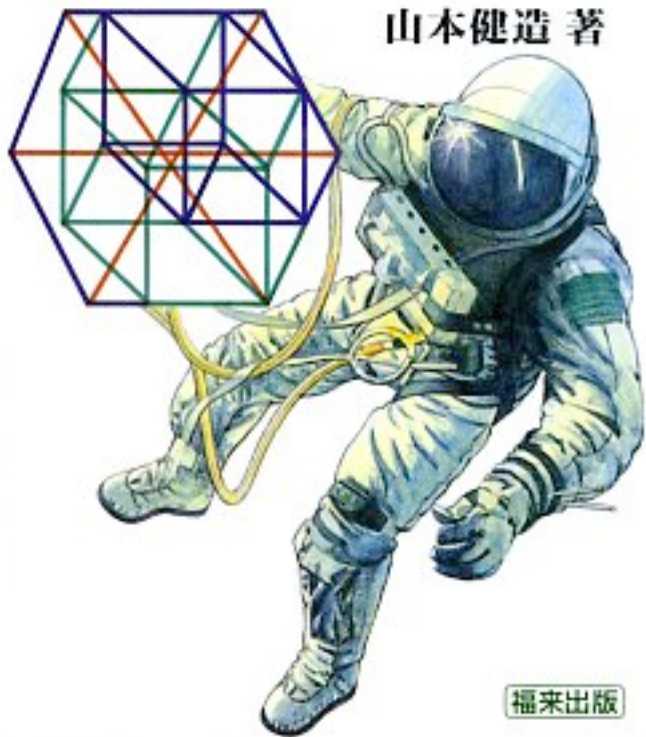


魂と科学の接点

「六次元空間」でのみドッキング

山本健造 著



福来出版

目次

学際曼荼羅の図……………	1
神通力発動の脳波はアルファ波ではない……………	2
本書への学者の推薦のことは……………	3
まえがき……………	14
本書のあらまし……………	35

新学説その一 学際曼荼羅の発見…………… 35

1 大脳生理学と心霊科学の正面衝突……………	36
2 倫理学と美学の正面衝突……………	37
3 四つの代表科学の相互矛盾……………	38
4 六次元原理で学際は成立する……………	38

新学説その二 六次元弁証法の原理……………	39
-----------------------	----

	1	哲学史は唯物、唯心の衝突史である……………	39
	2	具体的解決の道発見されず……………	39
	3	六次元原理で具体的に解決される……………	40
	4	六次元弁証法とは何か……………	41
	5	六次元弁証法は神通自在への道……………	42
		新学説その三 意識の場と記憶……………	42
	1	意識の場と念写……………	42
	2	意識の場は電磁波ではない……………	45
	3	意識の場と記憶……………	46
	4	脳細胞改造と短期合格法……………	47
		本論	
	一	神秘を科学した私の道……………	49
	1	井戸の底で泣く母の夢と劣等児時代……………	49
	2	精神感応の事実を知る……………	50
		二	
	1	六次元原理を発見するまで……………	57
	1	擬似科学と真正科学の判別……………	57
	2	神通実験の实在と福来博士……………	58
	3	神秘解明の基礎となる六次元グラフ……………	60
		三	
		最新理論物理学と曼荼羅……………	62
	1	ハイゼンベルクの量子力学……………	62
	2	不確定性原理と量子論……………	63
	3	密教の曼荼羅は最新物理学に指針を与う……………	67
	4	六次元弁証法は既にインドの古代にあった……………	68

	1	死後五年、霊の存在証明事件……………	103
	2	裁判記録にある幽霊存在の証明……………	104
八		大脳生理学と美学の衝突……………	106
	1	美は如何にして生まれるか……………	106
	2	今の大脳生理学では美は解けない……………	107
	3	意識の場の超物理性と脳細胞……………	108
	4	美学と大脳生理学の正面衝突……………	111
九		大脳生理学と倫理学の衝突……………	113
一〇		倫理学と美学の正面衝突……………	115
	1	善と美は二律背反か……………	115
	2	カントとシラーの正面衝突……………	116
	3	道徳と芸術の止揚と六次元弁証法……………	117
十一		倫理学と心霊科学の矛盾……………	121
	1	宿命論の非倫理性……………	121
	2	必然と偶然とはどう絡み合うか……………	122
	3	倫理学に背く心霊科学……………	125
十二		美学と矛盾する心霊科学……………	128
十三		六次元論的大脳生理学の在り方……………	130
	1	永遠の世界平和の道は学際の上にある……………	130
	①	人間機械論からは自由は生まれえない……………	130
	②	唯物機械観では念写は神秘のままだ……………	131
	③	唯物的共産経済の破綻……………	133
	④	唯物論に立つ事を知らぬ唯物論者……………	133
	⑤	象を囲む群盲と四律背反と六律背反……………	134
十四		六次元論より大脳を観る……………	139
	1	大脳は単なる機械ではない……………	139
	2	三段階に発達した大脳……………	140

3 人間の脳と主体性……………141

4 自由意志の起こるメカニズム……………143

5 自由創造の六次元法則……………146

十五 記憶力増進の原理……………149

1 記憶する脳のメカニズム……………149

2 永久に忘れない脳の仕組……………151

十六 意識の場の原理……………153

1 先哲未踏の新角度より迫る……………153

① 脳は主体性をもつ……………153

② 脳は自由選択性をもつ……………153

③ 脳は自由創造性をもつ……………153

④ 脳は精密機械を内包する……………154

⑤ 精密機械を駆使する主体は何か……………154

2 透視、念写と意識の場……………155

3 人間形成に於ける意識の場と脳細胞……………159

① 空間、時間と潜在意識……………159

② 幻覚と透視の背景となる場……………161

③ 意識の場の多重相乗と人格形成……………163

④ 学際成立する大脳生理学へ……………164

十七 六次元論より観た心靈科学……………166

1 靈魂は如何にして生まれ、肉体滅後も不滅となり得るか？……………166

① 唯心的靈氣説の靈魂説は破れた……………166

② されど幽霊現象は続いている……………170

A 裁判記録に出ている幽霊事件……………170

③ 飛驒に起きた連続幽霊事件……………172

A 靈界の正しい認識をもて……………172

B 六次元志向とは何か……………175

C 死後の心は果たしてあるか、その決めてはこれだ……………175

D 靈の泣き声、ガラス戸がひとりでに動く……………176

十八

1	意識の場は如何にして実在し得るか	215
2	憑依現象のメカニズム	215
3	夢の構成の順序	216
4	意識の場の実在の哲学的根拠	216
5	意識の場の六次元性	217
6	御燈明の哲理	217
7	死後の意識の場の物質化	218
7	死後の再生のメカニズム	219
④	意識の場が神通現象を起こす	211
⑤	意識の場は死後に残る	211
⑥	意識の場は感応し合う	212
⑦	意識の場が向上してもエネルギーを伴う	212
⑧	死後の向上は価値の実現である	212
⑨	価値は仕事の中に融けて永遠となる	213
⑩	讃える意識のエネルギーは讃えられる意識の場の栄養となる	214

2	意識の場は如何にして魂となるか	210
①	脳の中の主体性は意識の場である	210
②	記憶は意識の場に蓄えられる	210
③	第六感 ^① は意識の場の働きである	211
④	肉体を備えて生きている人の幽霊	188
A	死に際の意識の場と幻化相の証人	188
B	死に際に仏前に参る火の玉を見た人	190
C	死に際の幻化相と百力日忌の奇蹟	192
D	生存者の意識の場による幽霊写真と念写	202
E	私の意識の場と霊能誘発	207
E	霊の大爆発音、室内の錠がひとりで動く	179
F	老婆及び娘の霊と私の対面	181
G	大声に叫ぶ爺やの霊	183
H	幽霊の身許調査と私の透視の合致	185
I	白昼、浴場に裸体で現われた娘の霊	186
J	墓前に供えた西瓜の空化現象	187

8	唯心的心霊科学の矛盾	220
9	物質の偶然性と運命	221
10	釈迦は因縁説を否定された	222
11	釈迦の縁起説は科学だ	223
12	先人の意識の場の中にいる人	223
十九	中国の気功の原理について	225
1	本家の日本より中国が先に公認した	225
2	林厚省氏は五十年遅れて外気治療をする	226
3	電磁波レベル測定機では捉えられない意識場(気)	227
4	アルファ波は自己暗示状態の波であり神通力発動時の波は直線に近い	228
5	微粒子だ、いや磁波だと抹消を捉えて	230
	測定しても神通の本体はわからない	230
6	意識の抹消だけを科学している	231
7	金庫の中のフィルムに感光する念写	234
8	思う通りになる力	235
二十	頭脳を改造する現代求聞持法	237
1	私は自らの頭脳を改造した	237
2	弘法大師は如何にして偉大な能力を発揮されたか?	239
3	私の頭脳明晰法の脳波	240
4	私の脳波騒動と笑い話	242
5	弟子、貴美子の脳波	244
6	無我一念の頭脳明晰精神統一法	247
二十一	私の必勝短期合格法	252
1	一生の具体的な目標を心に刻む	252
2	正攻法としての学問の時期	255
3	速熟読法の時期	256
4	三時間熟睡二回法と短期試験合格体験	258
	① 黒金の的を貫く	258
	② 三時間熟睡二回法の発見	259
5	頭脳改造の現代求聞持法	261

6	試験直前に試験問題読む第六感	262
7	試験場で哲学を談ず	262
8	猛闘人物と讃えられる	264

二十二 意識の場と脳細胞改造法

1	我が子の脳細胞改造と試験合格法	266
2	脳波と脳波の感応現象	267
3	電磁波器具の危険性と生命の合目的性	271
4	医大入試必勝の秘訣	272

二十三 記憶力増進のメカニズム

1	意識の場は一切を正確に記憶している	274
2	念写による記憶不滅の証明	275
3	頭脳明晰人格改造内観の詩	280

あとがきにかえて

283